令和６年度
新発田地域水稲生育速報No. ６

令和6年7月19日
新発田農業普及指導センター

2回目穂肥を確実に施用！全量基肥でも追肥を実施！

○ コシヒカリは、草丈がやや長く葉色は濃い状況です。
○ 分施体系で、１回目の穂肥を遅め控えめ、または施用を見送った場合は、２回目の穂肥を確実に施用しましょう。
○出穂後に高温が予想されているため、３回目穂肥や全量基肥（一発肥料）でも追肥し、後期栄養を確保しましょう。

１．コシヒカリ生育概況（７月18日調査）

草丈…	81	cm	（指標比	108	%	、	やや長い）
茎数…	356	本/㎡	（同上	89	%	、	少）
葉色…	36.7	（葉緑素計）	（指標差	3.7		、	濃）
葉数…	12.0	葉	（同上	0.4	葉	、	やや早い）

２．当面の対策

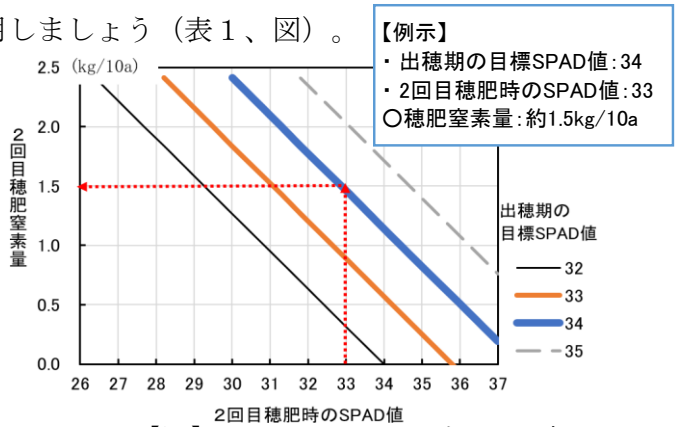
（１）コシヒカリの後期栄養確保

多日照・高温の日が続くと、葉色が急激に低下する可能性があります。１回目の穂肥を施用しなかった場合も、２回目の穂肥は確実に施用しましょう（表１、図）。

登熟期間が高温と予想されているため、下の表２を参考に、葉色が淡い場合は分施体系で３回目穂肥、全量基肥（一発肥料）でも追肥を実施しましょう（表２）。

【表１】コシヒカリの２回目穂肥の目安

区分	施用時期	施用量 （窒素成分kg/10a）
分施体系	出穂期10日前	1～1.5



【図】コシヒカリ２回目穂肥の目安

【表２】コシヒカリの３回目穂肥（追加穂肥）の目安

区分	判断時期・葉色（SPAD値）の目安	追肥施用時期	施用量（窒素成分kg/10a）
分施体系（化学肥料）	出穂期３日前・SPAD値31以下	出穂期３日前	1
全量基肥（化学肥料）	出穂期までのSPAD値が32～34を下回ると予想される時	出穂期10日前まで	1

（２）病害虫対策

ア　**葉いもちの発生が確認されています。**特にいもち病に弱い「新之助」「わたぼうし」は葉色が濃い株などを確認し、病斑を発見したら直ちに薬剤防除を行いましょう。

イ　**斑点米カメムシ類の注意報が発令中です。**①農道畦畔のイネ科雑草が穂をつけない間隔での継続的な草刈り、②液剤や粒剤など、剤型にあった適期に防除を行いましょう。

（３）水管理

ア　飽水管理を徹底し、完全落水は出穂期後25日以上としましょう。

イ　フェーン等緊急時の入水時には、地域農家間で協力し合いましょう。